職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月	B I	校長名			所在地						
福岡医健・スポ	ピーツ				〒812-0								
専門学校	5	平成14年4月1		古谷野 潔	福岡県	福岡市博多区石場 (電話) 092-26	2-2119						
設置者名		設立認可年月	8	代表者名	〒134-0	0004	所在地						
学校法人滋慶	学園	昭和58年12月2	3日	浮舟 邦彦		1084 1戸川区東葛西6 (電話)03-5576							
分野	100	定課程名		認知	学科名	(NE DE / 03 337)	専門士		高度	専門士			
医療	医	療専門課程		教急救	命公務員科		平成19年文部科学 告示第20号	省		_			
学科の目的		・う救急現場においる そのプロを養成する。		判断と処置ができ	きる確かな知	識と技術は勿論の	こと、幅広い教養と豊かな	人間性を	備えたプレオ	トスピタルケア・			
認定年月日	平成 26	年3月31日											
修業年限	昼夜	全算程の終了に必要な 配接条時数又は批准位 数		講義		演習	実習	3	実験	実技			
3	昼間	2,790		735		930	1,125		0	0			
生徒総定		生徒実員	留	学生数(生態変員の	d I	4任教員数	兼任教員数		121	用位 数員数			
105人		109人		0人		5人	13人			8人			
学期制度		4月1日~9月30日 10月1日~3月31日				成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方 各科目について、出席事 類の成績等を総合的に基	、授業態	度、試験の成	技績、レポート・1			
長期休み	■冬	季: 7月29日~9季:12月23日~ 末: 3月1日~ 3	1月 8日			卒業·進級 条件	1。当該学年において、限 修を認定されない学科目 い。 2。履修すべき学科目の 回数の3分の2未満の者(関修すべき が1科目!	き学科目(必 以上あれば、 について、出	頁科目)のうち、 進級・卒業でき 席回数が総授			
学修支援等	■個別本 ①担任に な連携強	担任制: 目談・指導等の対バ よる定期的・継続的 な化 5振者に対する個別	的個別面包		者との密接	課外活動	■課外活動の種類 ①各種企業プロジェクト実行 祭実行委員会④体育大会§ ■サークル活動:		会 その他	/実行委員会③学			
		沈職先、業界等(令					■国家資格・検定/その他・民間検定等						
	消防署、	病院、公務員(行	政職)				(令和4年度卒業者に			日報者の標準			
	就職を専 沿って、 別 から内定 が決まられ	旨導内容 門に支援するキャリア 健歴書指導、面接指導 獲得交渉等を個別には なくても、全ての学生の	i、求人獲行 行っている	界、企業見学・採用! 。また、仮に卒業式 きまるまで、卒業後も	試験の設定 までに就職		資格·検定名 救急救命士		受験者数 27 人	合格者数 27人			
	■卒業:	百数 希望者数		13	Ź.								
就職等の	■就職者数			13	X	主な学修成果							
状況※2	■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 48.1 % 48.1 % 48.1 % 100					(資格·検定等) **3 	※種別の欄には、各資格・検え るか記載する。 (1)国家資格・検定のうち、修了 ②国家資格・検定のうち、修了 ③その他(民間検定等)	と同時に取	女得可能なもの				
		令和四年度	卒業者に	関する			■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等						
	■ 古·本·	会和5年5月31日		M)	10 67	- 1		0/					
	合和5年	恩字者 ○4月1日時点にお ○3月31日時点に 夏学の主な理由		E学者103名(ito)	%					
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	進路変更	[、経済的困窮、家]]	医事情、そ	の他									
の現状	■中退防止・中遠舎支援のための取組 ①成積不振者に対する個別指導強化及び補智の実施②付属の優成会クリニックによる健康管理(受診料実費負担なし・薬代負担者に対しては、担任と共に専任の進路変更委員が支援を行う。本人の希望に基づき進度学園グループ内への転校・転利が可能(転的個別面談の実施及び保護者との連携強化⑤常駐の臨床心理士(カウンセラー)による早期介入支援(メンタルサポート)⑥学は、事務局会計課・専任のファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当がきめ細かな支援を行っている												
経済的支援 制度	□学校独自の奨学金・授業科等滅免制度: 有 ① 沿度奨学金 (在校生対象の貸与型奨学金・無利子) ② 学費分割納入制度(無金利・手数料等無、保証人不要) ③ 長期履修制度(留年に伴う学費免除)												
	■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実領者数について任意記載												
第三者による 学校評価	※有の場)評価機関等から第 場合、例えば以下に 体、受審年月、評価	ついて任意	急記載	<i>たホ</i> ームペ	ージURL)							
当該学科の ホームページ URL					нт	P://www.iken.ac	.ip/						

(留意事項)

、日本学校7 1. 公装年月日(※1) 最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

- した内容を公表することが来められています。初回悠走の場合は、悠走を受けた音示日以降の目行を記入し、削回公表年月日は空梱としてくたさい 2、就職等の状況(※2) 「就職年」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意 し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」以は「学校基本調査」における定義に従います。 (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について (1)「対策率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。 ②「就職希望者」とは、卒業年度中に栽職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留 年」「資格取得」などを希望する者は含みません。 ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をい はます。

- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として義終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、体学中の者、留学生、聴講生、科目等薩修生、研究生及び夜間部、医学科、蘭学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
 (2)「学校基本調査」における「李業者に占める就職者の割合」の定義について
 ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
 ②「京職」とは給料、資金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就たことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職にたが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進
- 3。主な学修成果(※3) 認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と 同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的 な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入資状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。 Ⅰ関

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容·方法の改善·工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体の役職員及び実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業 の役職員が参画する教育課程編成委員会を年2回実施し、業界の動向や変化、それに伴うニーズや必要な人材像を把握すると共に、実施している授業 やカリキュラム等を各委員に検証してもらいアドバイスや意見を頂く。また、教員による実習先訪問や就職担当による企業訪問を通して更なる情報収集を 図る。それらを十分に生かしつつ、カリキュラムや授業方法の改善、授業科目の開設等を図り、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程の編成は、理事会の下に設置された教育課程編成委員会において討議した内容を十分に考慮したうえで、学科会議において編成を行うものとし、委員会の適切な運営は理事会が担保することになっている。また、教員組織規則において、「委員会の審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施する教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従って委員会を運営する。 (以下図により、編成意思決定の過程を示す)

(教育課程編成委員会) (学校・学科) (教育課程編成委員会) (学校・学科) P (プラン) D (実行) A (改善)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

名前	所属	任期	令和5年4月1E 種別
河野 寛幸	一般社団法人 福岡博多トレーニングセンター 理事長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	1)
橋本 修二	社会医療法人財団池友会 福岡和白病院 医療連携室 主幹	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	3
土本 佳正	福岡医健・スポーツ専門学校 事務局長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	-
古谷野 潔	福岡医健・スポーツ専門学校 学校長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	-
河口 青児	福岡医健・スポーツ専門学校 副校長・教務部長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	===
松原 敏昭	福岡医健・スポーツ専門学校 教務事務部長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	=
川理 岡川	福岡医健・スポーツ専門学校 救急救命公務員科 学科長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	1000

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

- - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。) ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は年2回開催し、第1回目を毎年5月、第2回目を翌年1月に実施している。今年度開催(予定)日時は以下の通り。また、委員会欠 席委員に対しては個別に意見聴取を行うなど、必要に応じて、適宜適切に分科会等を開催する場合がある。

第1回 令和5年5月19日 15:30~17:00

第2回 令和6年1月26日 13:00~15:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

※カリキュラムの改善業や今後の検討課題等を具体的に明記。 入学者の学力や学習方法の確立が必要との指摘があった。通常授業 とは別に、精習・補講・グループ学習・個別指導などを適時適切に取り入れた。また、公務員対策の強化が必要との意見があり、補講及び春季請座・夏季 講座・冬季講座などの充実を図ってきた。来年度は、更に授業時間を増やすと共に、面接指導を特に強化すべく計画している。また、病院実習に於いて介 助技術が不足している旨の指摘を頂いたため、病院実習前に看護科教員による「病院実習前実習」を行った。また、学科を問わず全学科に共通した意見 として、各委員からは、「コミュニケーションカの強化」「仕事に対する身構え、気構え、心構えといったプロ意識の確立」「社会的人格形成」「自主性・主体 性・積極性の育成」「仕事観・職業観の確立による早期退職の防止」「基礎力と柔軟な応用力の育成」など、多くの意見を頂いた。これらを基に、コミュニ ィョンスキル検定の導入や授業内容・方法の改善を図ると共に、授業以外の教科指導、実習指導、生活指導、就職指導、国試対策指導等あらゆる機 会をとらえて、キャリア教育の充実に向けた検討・環境整備に取り組んでいる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、「学校と業界が協力をして、業界が求める即戦力の人材を育成し、業界に送り出す」という「産学共同教育」を開校以来実践してきた。即戦力とし ての職業人教育を行うため、業界と連携して専門知識・技術、人間力を有した人材育成を行っている。このため、特に実習・演習科目に於いては、現場の 第一線で活躍するプロに非常勤講師を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施及び達成度評価を行っている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業等と講師業務委託契約を交わした上で、現場の第一線のプロが非常勤講師として授業を行っている。学校と非常勤講師が協議して作成したシラバスを基に授業は進行され、成績評価は毎授業での到達目標達成度及び学期ごとに行う定期試験の結果をもって総合的に評価される。また、担当非常勤講師と学科専任教員は常に連携を密にし、情報を共有しながら授業運営に係る問題解決や授業改善に協力して取り組んでいる。更に、業界研修・臨床実習等を実施し、企業等の指導担当者の下、現場体験を深め即戦力としての更なる知識・技術の習得に努めている。実習実施前の協議を徹底すると共 に、教員による実習巡回を通して指導担当者と教員の連携・情報共有を図り、協力体制を強化して教育効果の向上に努めている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目概要	連 携 企 業 等
救急医療機関に於いて、救急救命士の役割を 知り、実際の医療現場を通じて実践的な知識・ 技術・接遇を身に付ける。	福岡東医療センター・福岡済生会福岡総合病院・佐賀大学医学 附属病院・九州医療センター・佐賀県医療センター好生館・福岡 念病院・福岡徳州会病院・福岡和白病院
	救急医療機関に於いて、救急救命士の役割を 知り、実際の医療現場を通じて実践的な知識・

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教職員規定において、専門技術・知識の向上、授業内容・教育技法の改善、クラス運営力の向上、マネジメント能力や指導力の向上などを 研修の目的として、職歴や能力・経験、職責、担当業務に合わせて、定期的・継続的に業界と連携して研修を実施している。企業・業界団体等が開催する 研修会や講習会に専任教員を計画的に参加させ、業界の変化やニーズを的確に把握すると共に、最新の技術・知識の習得に努めている。

(2)研修等の宝績

①真攻分野における実務に関する研修等

·2021年8月19日 令和3年度全国救急救命士施設協議会総会 全国教急救命士施設協議会主催 参加者:救急救命科学科長 なると1十6万 19日 下旬の千度王田水心秋町上地域 Mineは云や云 王田 からればい 正成 Mineは云上屋 シルコ・ガルネ 教 意 教命 北の現状と今後の進展について デジバ 終合教 魚 医療 『 ト・ ド・ 田」の授業に活用した。
・2021年6月25日~26日 第25回日本教急医学会 九州地方会 主催:日本教急医学会 参加者:教急教命科学科長 救急医療・災害医療・終末期医療を学んで「救急処置実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の授業に活かした。

②指導力の修得・向上のための研修等

·2021年8月20日 令和3年度全国救急救命士施設協議会教員研修 全国救急救命士施設協議会主催 参加者:救急救命科学科長 学内実習及び病院実習に係る各行の取り組みを共有し、各種臨床実習における教育効果の向上に活用した。

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:第26回日本救急医学会九州地方会主 催:日本救急医学会

実施日:令和4年6月24日・25日

参加者: 救急救命公務員科専任教員1名 内 容: 多職種連携で救急医療の危機に挑む / 自然災害への備えを再考する

研修名:全国救急救命士施設協議会社員総会

主 催:全国救急救命士教育施設協議会 実施日:令和4年8月18日

参加者:救急救命公務員科専任教員1名

容: 救急救命士の現状と今後の進展状況について / 各種委員会報告事項・次年度計画

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:全国教急救命士教育施設協議会 教員研修主 催:全国救急救命士教育施設協議会 実施日:令和4年8月19日

参加者:救急救命公務員科専任教員1名

参加省・水芯水町 4 行長付きは収貨14日 内容・救急教命士の処置拡大について✓ 12誘導心電図の読み取り方と指導方法/救急救命士の資格利活用について 研修名: JESC救急救命教育部会 分科会 主 催: JESC救急救命教育部会

実施日:年4回実施(4月・7月・10月・2月)

参加者: 救急救命公務員科専任教員1名

内 容: 各校の広報・就職・DO・国家試験の現状報告と情報交換

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:第27回日本救急医学会九州地方会主 催:日本救急医学会

土 惟: ロー杯ふ运チェ 実施日: 今和5年5月12日・13日 参加者: 救急救命公務員科専任教員3名 内 容: 医療業務のタスクシフト / 重症患者家族対応と臓器移植問題

研修名:全国救急救命士施設協議会社員総会 主 催:全国救急救命士教育施設協議会

主 催: 主国权总权叩工教育施設協議立 実施日: 令和5年8月17日 参加者: 救急救命公務員科専任教員1名

容: 救急救命士の現状と今後の進展状況について / 各種委員会報告事項・次年度計画

2指導力の修得・向上のための研修等 研修名:全国救急救命士教育施設協議会 教員研修 主催:全国救急救命士教育施設協議会 教員研修 主催:全国救急救命士教育施設協議会 実施日:令和5年8月18日

天派に1、1940年6月16日 参加者: 教急教命公務員科専任教員1名 内 容:シミュレーション教育のあり方 / 新任教員研修ワークショップ /総務省消防庁報告

研修名: JESC救急救命教育部会 分科会

主 催:JESC救急救命教育部会 実施日:年4回実施(4月•7月•10月•2月)

参加者: 救急救命公務員科專任教員1名

内 容:各校の広報·就職·DO·国家試験の現状報告と情報交換

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、 当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、卒業生、保護者、地域住民、高等学校、企業により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価して、様々な角度からアドバイスや支援を行うことを通して、学校運営 の改善に活用することを方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念·目的·育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献·地域貢献	社会資献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

1年次に遅刻・欠席が多い傾向がみられるため対処が必要との指摘を受けた。これに対処するために、新たな学生日誌やポートフォリオを導入して学生一人ひとりの状況を把握し、学習習慣の確立や生活習慣の改善を図った。また、消防官(教急救命士)としての意識や職業観及び公務員としての自覚等の教育強化が必要との意見を頂いた。これに対処すべく、現役消防官による特別講義を定期的に開催しマインド教育に努めた。また、各委員より各項目概ね「評価4」の評価を頂いたが、その他の意見としては、学科を問わず学校全体への意見として、各委員から「コミュニケーション能力の更なる向上に努めてほしい」「就職100%と共に1年以内の離職率の低下が重要」「国家資格の合格率と共に受験率の更なる向上を期待する」「「中途退学率の更なる低減 が必要」「基礎力と応用力の強化が重要」など多くの意見を頂いた。リーダー会議、学科会議、キャリアセンター会議、全体会議等でこれらの意見を共有 し、具体的な対策を実施し、その実現を図っている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任	捌	種 別
村田 栄治	村田整骨院 院長	令和5年4月1日~	令和6年3月31日(1年)	企業等委員(柔道整復科)
要 信義	要鍼灸院 院長	令和5年4月1日~	令和6年3月31日(1年)	企業等委員(鍼灸科)
橋本 修二	社会医療法人財団池友会 福岡和白病院 医療連携室 主幹	令和5年4月1日~	令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (救急救命公務員科)
福田 智	医療法人 せと山荘クリニック 統括部長	令和5年4月1日~	令和6年3月31日(1年)	企業等委員(理学療法科)
丸田 淳司	医療法人誠和会 牟田病院 医療部門科長	令和5年4月1日~	令和6年3月31日(1年)	企業等委員(作業療法科)
案西 浩平	医療法人社団 桜香 あんざい歯科クリニック 理事長	令和5年4月1日~	令和6年3月31日(1年)	企業等委員(歯科衛生士科)
今里 安江	医療法人社団 扶洋会 秦病院 看護部長	令和5年4月1日~	令和6年3月31日(1年)	企業等委員(看護科)
安積 研二	AcroBats株式会社 取締役会長	令和5年4月1日~	令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (スポーツ科学科)
中西 祐介	株式会社サンドラッグ 人事部採用課主任	令和5年4月1日~	令和6年3月31日(1年)	企業等委員(薬業科)
谷口 貴隆	スポーツ科学科 卒業生	令和5年4月1日~	令和6年3月31日(1年)	卒業生代表
冨崎 尚美	在校生(鍼灸科2年)保護者	令和5年4月1日~	令和6年3月31日(1年)	保護者代表
稲富 勉	福岡県立香椎高等学校 校長	令和5年4月1日~	令和6年3月31日(1年)	高等学校関係者
戎﨑 淳一	福岡市博多区大浜公民館 館長	令和5年4月1日~	令和6年3月31日(1年)	地域関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 令和5年6月30日 (前回 令和4年6月30日)



(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

http://www.iken.ac.jp/

- 5、「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供しているこ と。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針で提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学率の低減、就職100%、国家試験合格率100%等)を具現化するために、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。その為にも、学校の方針や考え方に加え、様々な詳細情報を十分に理解して頂いた上で、意見やアドバイス、支援を頂くことが重要となる。企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、業界関係者である非常勤講師との講師会、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、企業とタイアップして行うイベント等あらゆ る機会を活用して、積極的に情報の提供を行っている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校長名 所在地 連絡先 学校の沿革 建学の理念 学校安全関連 保健対策 受入方法 定員 在校生数 カリキュラム 学年歴 シラバス 卒業進級判定基準 取得する称号
(2)各学科等の教育	受入方法 定員 在校生数 カリキュラム 学年歴 シラバス 卒業進級判定基準 取得する称号 取得を目指す資格 資格試験合格実績 主な就職先
(3)教職員	教職員数 学校組織図 教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育ロードマップ 業界研修 キャリアセンター 就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	設備紹介 海外実学研修 部活動
(6)学生の生活支援	設備紹介 海外実学研修 部活動 中途退学防止支援 就職支援 健康支援 学費相談 進路変更支援 支援機関 支援制 度
(7)学生納付金·修学支援	学費一覧 奨学金 教育ローン案内
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援 留学生の受入れ状況 外国の学校との交流状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法 ホームページ 広報誌等の刊行物

URL: http://www.iken.ac.jp/

授業科目等の概要

	([医療	専門	課程救急救命	公務員科)令和5年度											
		分類							授	業	方法	場	所	教	員	
		選択必修	選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	時	単位数	講義		実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
1	0			情報科学	Excel・Word・PowerPointの基本操作を学び、文章作成や表計算・プレゼンテーション等に必要な資料作成ができるようになる。	1	30	2		0		0			0	
2	0			英会話・医学 英語	医療従事者として必要とされる日常英会話の基礎を学び、グローバル化している現代 社会において順応な対応ができるようになる。		30	2		0		0			0	
3	0			生命・医学倫 理	生命の尊さを認識し、人の誕生から死までの間に起こりうる出来事を学び、倫理的基盤を身につけ、医療人として対応することができるようになる。		15	1	0			0		0		
4	0			臨床心理学	心理学の基礎的知識や臨床的知識を学び、 救急救命士として現場で適切な対応ができ るようになる。	1	15	1	0			0			0	
5	0			コミュニケー ション論	医療従事者として必要なコミュニケーションについて学び、社会で必要とされるルールやマナーを理解し、就職について主体性・計画性を持って行動することができるようになる。	1	30	2		0		0			0	
6	0			解剖学·生理 学	人体を構成する要素や人体の各器官の位置 関係、人体の構造と機能について系統的に 説明できる。	1	90	6	0			0		0		
7	0			病理学	炎症と感染、循環・代謝障害、退行性・進行性病変、先天性異常等を学び、各疾病の成り立ちと回復の過程について説明できる。	1	30	2	0			0		0		
8	0			薬理学	各種薬剤の薬理作用や適応、生体に及ぼす影響について学び、救急現場において、傷病者の有用な情報源として判断し、適切な現場活動ができるようになる。	1	30	2	0			0		0		
9	0			公衆衛生学	近年の少子高齢化や保健所の役割、学校・母子保健、精神保健福祉等について学び、 保健医療制度の仕組みと現状ついて説明で きる。	1	15	1	0			0		0		
10	0			社会保障·社 会福祉	社会保障と社会福祉の理念や医療・介護・ 年金保険制度、生活保護等について学び、 現在の社会保障と社会福祉を支える仕組み について説明できる。	1	15	1	0			0		0		
11	0			病院前医療概 論 I	救急・災害・病院前医療体制と、消防機関 における救急活動の流れを学び、救急現場 において適切な病院選定や救急活動ができ るようになる。		30	2	0			0			0	
12	0			病院前医療概 論 Ⅱ	病院前救護活動における救急救命士の役割 と責任について学び、救急救命士として法 令及び安全管理を遵守した現場活動ができ るようになる。		30	2	0			0			0	

			产性 产产压力 人名英巴尔马尔马克	T	1	
13	0	救急救命処置 概論 I	病態・疾病によって全身や局所に認める特徴的な症状について学び、救急現場において第一次の適切は観察と緊急度・重症度判別ができるようになる。			0
14	0	救急救命処置 概論 Ⅱ	救急現場で使用する資器材やその資器材を用いて救 急救命士が行う観察・蘇生法・処置について学び、 適切な資器材選定と傷病者への対応ができるように なる。			0
15	0	救急病態生理 学 I	呼吸・循環不全・心肺停止の症候・病態生 理を学び、救急現場において適切な観察・23020 評価・救急処置ができるようになる。			0
16	0	救急病態生理 学Ⅱ	神経系に関わる疾患の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・2453O 救急処置ができるようになる。			0
17	0	救急症候学	各種疾患の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置が 2 45 3 Oできるようになる。			0
18	0	疾病救急医学 I	神経・呼吸・循環器系の主な疾患の発生機 序、症状を学び、救急現場において必要な 救急処置や適切な対応ができるようにな る。		0	
19	0	疾病救急医学 II	消化・泌尿・内分泌・血液・皮膚・感覚系の主な疾患の発生機序や症状を学び、救急 現場において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。		0	
20	0	疾病救急医学 Ⅲ	筋・骨格系、感染症の主な疾患の発生機 序、症状を学び、救急現場において必要な 救急処置や適切な対応ができるようにな る。		0	
21	0	疾病救急医学 IV	小児・高齢者・周産期・精神障害の特殊性とその発生機序、症状を学び、救急現場において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。			0
22	0	外傷総論	外傷についての傷病者の評価や受傷機転、 発生機序、ショックを学び、外傷時の現場 活動において必要な救急処置や適切な対応 ができるようになる。		0	
23	0	外傷各論	各部位における外傷の受傷機転、発生機序、病態、 症状、所見及び予後等を学び、外傷時の現場活動に おいて必要な救急処置や適切な対応ができるように なる。		0	
24	0	急性中毒学	中毒物質による障害について発生機序、病態、症状、予後などを学び、中毒物質が原因となる救急活動において観察、評価、処置及び搬送方法について適切な対応ができるようになる。		0	
25	0	環境障害	環境因子による障害について発生機序、病態、症状、予後などを学び、環境因子が原因となる救急活動において観察、評価、処置及び搬送方法について適切な対応ができるようになる。		0	
26	0	救急処置実習 I (基本手 技)	実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身につけ、実際の救急現場での対応ができるようになる。	0	0	
27	0	救急処置実習 Ⅱ (応用手 技)	実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身につけ、実際の救急現場での対応ができるようになる。	0	0	0

28	0			救急処置実習 Ⅲ (総合手 技)	実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身につけ、実際の救急現場での対応ができるようになる。	1,	225	5			0		0	0	0	
29	0			救急処置実習 Ⅳ(病院内実 習)	実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を学ぶことにより、救急医療機関において、救急救命士として対応することができるようになる。	4	180	4			0		0		0	0
30	0			総合救急医療	救急救命士国家試験に必要な知識を総合的に学び、救急救命士国家試験に必要な合格 基準を突破できるようになる。		150	10		0		0		0		
31		0		公務員講座 (総合・面接)	公務員試験の教養試験を突破する知識を身につけ、面接試験に必要な書類作成や礼法・作法、口頭試問に対する自己表現ができるようになる。	, ,	345	23		0		0		0	0	
32		0		総合基礎	救急救命士として必要な基礎的知識を総合 的に学び、救急救命士国家試験の基礎的問題を解くことができるようになる。		345	23		0		0		0		
			合計 32 科目							136	単位	立 (単位	時間	引)	

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	F
卒業要件	当該学年において、履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科目(不合格)が1科目以上あれば卒業できない。また、履修すべき学科目のいずれかについて、出席回数が総授業回数の3分の2未満の者は卒業できない。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	講義・演習・実技・実習のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。